



念願の関東制覇 インターハイに向けて好発進



目標はインターハイ入賞

その視線は、常に先を見据えている。関東大会は、通過点にしかならない。自転車に乗ると人が変わる、石川選手。県総体では、個人7種目中4種目で優勝を飾り、3種目でも全て3位以内と上位を総なめにした。関東大会では、1種目しか出場できない中で、4km速度競走に狙いを定め、関東の強豪を抑えて初優勝を飾るとともに、2年連続でのインターハイ出場を決めた。

「インターハイに出場して満足してしまった。」と石川選手は、昨年のインターハイ福井大会を振り返る。数々の大会を経験して、大会の雰囲気にも、競技の駆け引きにも慣れてきた。今年のインターハイに懸ける思いは強い。まずは決勝に残る。そして、入賞する。石川選手が掲げる最低限の目標だ。石川選手のスタートはここから。「インターハイの借りはインターハイでしか返せない」そう言って石川選手は、今日もペダルを漕ぎ続ける。

R4インターハイ香川大会 自転車競技

8月4日～8月6日@高松競輪場、綾川町特設ロードコース

勇気凛々 剣道部 関東大会出場



剣心一如 常時関東大会出場へ

最後まで集中力が切れなかった。1回戦で渋川青翠、2回戦で桐生に勝ち、準々決勝で常磐と戦い僅差で敗れた。群馬県開催の関東大会出場の枠は5つ。敗者復活戦で、太田との死闘を制し、その勢い、集中力のまま、育英との代表決定戦も激闘の末勝利し、関東大会出場を決めた。

【関東大会出場決定戦（敗者復活戦）】

